入試番号	秋期 BM51／冬期 BM52

2027 年度
一橋大学大学院経営管理研究科　修士課程
経営管理専攻　経営学修士コース
金融戦略・経営財務プログラム

社会人選考募集要項

金融市場や企業経営の現場を取り巻く環境は、技術革新や市場のグローバル化、規制等の導入、不確実性の増大によって大きく変化しています。特に近年では生成 AI の急速な進展により、情報の取得・分析・意思決定のあり方そのものが変容しつつあります。資産運用、リスク管理、資金調達、企業価値評価や M&A 等のそれぞれの領域で、高度な専門性に加えて、データとテクノロジーを適切に活用して状況に応じた判断を行う能力がこれまで以上に求められています。

金融戦略・経営財務プログラムでは、現代の金融・企業経営に必要な知識を基盤としつつ、ビジネスで直面する問題を構造的に捉え、理論と実務双方の視点に基づき自ら判断し行動できる高度専門職業人の育成を目指しています。ビジネス課題に対する定性的・概念的理解と定量的分析スキルに加え、生成 AI 等の新たな技術を適切に活用して実際のデータや事例に基づき意思決定する力を習得することで、変化の激しい環境において持続的に価値創造を担う高度金融人材となることができると考えます。

本プログラムは、金融に携わる方に限らず、事業会社やコンサルティングファーム、官公庁等で金融・財務に関する意思決定に携わる実務家から、今後こうした分野でリーダーシップを発揮していきたいと考える方まで、広く意欲的な社会人を対象としています。仕事と両立しながら効果的にファイナンスやデータ分析について基礎から応用まで体系的に学ぶことができ、演習（ゼミ）での修士論文指導を通じて学びを能動的に課題解決に結びつける力を養うカリキュラムを提供しています。

本プログラム（4 月入学）の授業は、一橋大学大学院経営管理研究科・千代田キャンパス（所在地：千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内）において、平日夜間・土曜に行います。

2 年以上在学し、34 単位以上（演習 8 単位以上を含む。）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格した方には修士（経営）「金融戦略・経営財務 MBA」の学位が授与されます。

なお、本プログラムは、年２回の募集（秋期と冬期）を行いますが、募集人員は合わせて 41 人とします。また、冬期の募集は若干名とします。

1. 学生募集人員

経営学修士コース　金融戦略・経営財務プログラム　秋期募集　41 人

経営学修士コース　金融戦略・経営財務プログラム　冬期募集　若干名

2. 出願資格

入学時点において、企業･官公庁等における原則 2 年以上の実務経験を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者（出願時点で 2 年以上である必要はありません）。

ただし、学生の身分を有しながらの就業（主として働きながら大学夜間部や通信制大学等に在籍していた場合を除く）は実務経験に含まれません。

(1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者

(3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了し､学士に相当する学位（Bachelor of Arts（以下 B. A.と略す）又は Bachelor of Science（以下 B. S.と略す）等）を取得した者及び 2027 年 3 月までに取得見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了し、学士に相当する学位(B.A.若しくは B.S.等)を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、学士に相当する学位(B.A.若しくは B.S.等)を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位(B.A.若しくはB.S.等)を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[注 1)]

(10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 才に達した者[注 1)]

※上記(9) (10) に該当する者は、出願資格の審査が必要となります。下記**資格審査書類受付期間より前に**千代田キャンパス事務部に E-mail（chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp）または郵送にて申し出て、その指示に従い必要書類を提出すること。

資格審査書類受付期間　秋期：2026 年 7 月 21 日（火）　～　8 月 17 日（月）

冬期：2026 年 10 月 23 日（金）　～　11 月 20 日（金）

提出書類には証明書等発行に時間がかかるものもありますので余裕をもってご連絡ください。

3. 出願書類

書　類　等	提出対象	摘　　要
入学志願票	全 員	下記 URL の WEB 出願ページから出力した入学志願票（プリントアウトして同封してください） URL：https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nitj-lesbpe-12a462a4e9a4b5ff25cc8acbf8a25a2a
卒業(修了)証明書等 **※学士、修士、博士にかかわらず、保有する学位すべての証明書が必要です。**	出願資格(1)の方	出身大学長（学部長でも可）が作成した卒業証明書又は卒業見込証明書。本学卒業者は学業成績証明書をもって代えます。
	出願資格(2)の方	大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与（申請受理）証明書
	出願資格(3)～(6)の方	出身大学の卒業（見込）証明書若しくは学位(B.A.若しくは B.S.等)授与（見込）証明書。 中国の大学を卒業した者は、上記のほかに「中国高等教育学生信息網（学信網 CHSI)」(https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgcx.jsp)からダウンロードした学歴認証報告書(Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate)および学位証明書（Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate）を印刷したものを提出してください。
	出願資格(7)～(10)の方	出願前に一橋大学大学院千代田キャンパス事務部へ問い合わせてください。
学業成績証明書 **※学士、修士、博士にかかわらず、保有する学位すべての証明書が必要です。**	全　員	出身大学長（学部長でも可）が作成したもの。
在職証明書 **※2 年以上の実務経験を証明できるものが必要です。**	全　員	現在または過去に所属の企業・官公庁等が発行する在職証明書 ※在職期間又は実務期間を明示してください。また、入学時点で期間が合計で 2 年以上となるよう提出してください。 ※やむを得ない事情により在職証明書の提出ができない場合は、それに代わる証明書等の写しを、提出できない理由を記載した理由書とともに提出してください。 ※企業派遣となる場合は、修士論文計画書の所定欄にその旨を記載してください。
評価報告書	任　意	志願者の職業上の経験・能力を知る者（勤務先の上司など）に作成を依頼する場合には、所定の書式を用い、**厳封したものを提出してください。**
修士論文計画書等 3 部	全　員	所定の要領に従って作成したもの（詳細は別紙参照）。 1) 書式・枚数：書式は A4 縦、文字は横書きとします。パソコンを使用してまとめ、左上 1 点をホチキス留めしてください。 2) 内容： 修士論文題目、志望理由・自己アピール、「修士論文計画書」あるいは「修士論文構想書」、その他（スキルや過去の研究実績など）表紙含めて 7 ページ以内。 **※修士論文題目は、WEB 出願ページの「研究題目」欄と同じものを記入してください。** 3) 提出部数：正本 1 部､副本（正本の写し）2 部､計 3 部 【重要】計画書等の作成に当たってはアドミッション・ポリシーをよく確認し、志望する専攻の教育・研究内容

		と自らの目標が一致しているか十分な調査と検討を行ったうえで、自らの責任において作成したものを提出してください。
在留カードの写し	外国人出願者のみ	在留カードの表裏両面の写しを提出してください。ただし、在留カードを交付されていない者についてはパスポートの写しを提出してください。
レターパックライト 1 通	全　員	第 1 次試験結果通知書等送付先の住所･氏名を明記したもの。 ※折り曲げて封入してください。
入学検定料振込受取書等（下記 「4. 入学検定料」欄 を参照	全　員	入学検定料を払込済みであることを示す書類 ※日本政府（文部科学省）奨学金留学生：入学検定料は振り込まずに、その旨を証明する所属大学発行の証明書を添付してください。

注) WEB 出願ページで登録する顔写真は、試験当日に本人確認のために使用します。試験実施時の確実な照合のために、画像が鮮明なものを用意してください。本人であることが確認できない場合には受験資格を失うことがあります。注) 卒業（修了）証明書、学業成績証明書は、原則として提出日から 3 か月以内に発行された原本を提出してください。

注) 提出書類の中に、外国語で書かれた証明書､文書等がある場合には､その日本語訳を添付してください｡ただし、英文の場合は不要です。

注) 提出書類の氏名が入学志願票と異なる場合には、戸籍抄本等の氏名変更を証明できる書類を添付してください。

注) 外国語検定試験における不正行為（疑い含む）による試験結果取消しを含め、出願書類に虚偽・偽造・不正行為等が発見された場合には、合格決定後でも入学（又は進学）を取り消すことがあります。

注) 提出された出願書類は返却しません。

提出書類に不備があった場合は、審査対象とはなりませんのでご注意ください。

4. 入学検定料

入学検定料 30,000 円	【日本国内に在住の者】 **出願期間（5.(2)）内に**銀行振込、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより検定料を納付してください。 ※いずれの場合においても、振込手数料、支払手数料は各自でご負担ください。 ■銀行振込の場合 振込先：三井住友銀行国立支店 口座名義：「国立大学法人一橋大学経営管理研究科検定料口」 口座種別、口座番号：「普通預金７７６１７４０」 なお、振込の際、名前の前に「６３３」の番号を入力してください。 必ず利用明細又は、振込受取書のコピーをＡ４用紙に貼って出願書類に同封してください。 ■コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合 本学の下記 WEB サイトから検定料支払サイトへアクセスし、事前申込の上、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードにより検定料を納付してください。 https://www.hit-u.ac.jp/faculties/graduate/examfee.html 支払い後、コンビニエンスストア（ファミリーマート、セブンイレブン、ローソンまたはミニストップ）決済の場合は、店舗で発行される「収納証明書」をＡ４用紙に貼って出願書類に同封してください。その他のコンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合は、検定料支払サイトで申込内容照会結果から「収納証明書」を印刷し、Ａ４用紙に貼って出願書類に同封してください。 ※支払い方法の詳細は、上記本学 WEB サイトに掲載の「一橋大学大学院検定料払込方法」を参照してください。 【日本国外に在住の者】 **出願期間（5.(2)）内に**本学の下記 WEB サイトから検定料支払サイトへアクセスし、クレジットカードにより検定料をお支払いください。支払い後に、検定料支払サイトで申込内容照会結果を印刷し、出願書類に同封してください。 https://www.hit-u.ac.jp/admission/postgraduates/announce.html ※支払手数料は各自で負担してください。 ※支払い方法の詳細は、上記本学 WEB サイトに掲載の「一橋大学大学院検定料払込方法」を参照してください。 ※検定料支払いサイトでの支払い手順等については、同サイトの「よくある質問（FAQ）」を確認の上、E-サービスサポートセンターに問い合わせてください。 【日本政府（文部科学省）奨学金留学生】 入学検定料は振り込まずに、その旨を証明する所属大学発行の証明書を添付してください。

5. 出願方法

■出願期間内に、①WEB 出願ページでの出願登録、②検定料の納入（検定料不要の場合を除く）、③必要書類 の郵送、を全て行うことにより出願が完了します。WEB 出願ページでの出願登録は、一橋大学金融戦略・経営財務プログラムのホームページ入試情報 https://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/admission/exam/に掲載の WEB 出願ページ入力要領」（pdf）を参照しながら行ってください。

■海外在住または外国から出願する場合は、出願期間前に千代田キャンパス事務部にメール（chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp）でお問い合わせください。

(1) 志願者は、入学検定料を振り込みの上、上記 3.の出願書類を一括し、封筒の表に「経営学修士コース金融戦略・経営財務プログラム願書在中」と朱書きの上、所定の期間内に郵送（書留郵便やレターパック等の記録の残る方法）で提出してください。出願期間内に必着のこと。 ただし、出願期限を過ぎて着いたものでも、日本国内から発送されたもので秋期：2026 年 9 月 30 日（水）・冬期：2027 年 1 月 8 日（金）以前の消印・引受け記録のあるものは受け付けます。発送業者（郵便局等）の追跡番号・引受け記録がない出願書類については、期間内の発送であっても遅配等には対応できません。なお、出願書類は直接持参しても受付けませんので必ず郵送してください。

(2) 出願期間

秋期：2026 年 9 月 24 日（木） ～ 10 月 2 日（金）〔必着〕

冬期：2027 年 1 月 4 日（月） ～ 1 月 12 日（火）〔必着〕

(3) 願書の提出先

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2－1－2 学術総合センター内

一橋大学大学院千代田キャンパス事務部

6. 選考方法

第 1 次試験（書類審査）、及びその合格者に対する第 2 次試験（口述試験）の結果を総合して合否を決定します。

(1) 第 1 次試験（書類審査）

① 出願書類について審査を行い、入学志願者の能力、意欲、適性、これまでの学修の成果、実務経験の内容、今後の研究計画を総合的に評価判定します。

② 合否結果、及び第 2 次試験（口述試験）の実施日時については、

秋期：2026 年 10 月 30 日（金）以降

冬期：2027 年 1 月 29 日（金）以降

に郵送にて通知します。

(2) 第 2 次試験（口述試験）

① 第 1 次試験（書類審査）の合格者を対象に、以下の日程で第 2 次試験（口述試験）を行います。必ず第 1 次試験結果通知書を持参してください。

＜秋期＞

期 日	試 験 科 目	試 験 時 間
2026 年 11 月 8 日（日）	口述 出願書類に基づき、入学志願者の能力、意欲、適性、これまでの学修の成果、実務経験の内容、本プログラムにおける研究計画等に関する事項について口頭試問を行います。	9 時 30 分～17 時（予定） （面接の時間指定はできません）

＜冬期＞

期　日	試　験　科　目	試 験 時 間
2027 年 2 月 7 日(日)	口述 出願書類に基づき､入学志願者の能力、意欲、適性、これまでの学修の成果、実務経験の内容、本プログラムにおける研究計画等に関する事項について口頭試問を行います。	9 時 30 分～17 時(予定) (面接の時間指定はできません)

② 第 2 次試験（口述試験）試験場

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内 一橋大学大学院

（地下鉄竹橋駅より北へ徒歩約 5 分又は、神保町駅より南へ徒歩約 5 分）

7. 合格者発表

日　時 ： 秋期：2026 年 11 月 16 日（月）13：00

冬期：2027 年 2 月 19 日（金）13：00

場　所： 学術総合センター内 一橋大学大学院千代田キャンパス掲示場（5F）

※合格者受験番号を金融戦略・経営財務プログラムウェブサイト（https://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/）に掲載します。

※秋期・冬期とも合格者には合格通知書類を郵送します。

8. 入学手続き

(1) 入学手続期間

秋期：2026 年 11 月 20 日（金） ～ 11 月 27 日（金）

冬期：2027 年 2 月 26 日（金） ～ 3 月 3 日（水）

(2) 入学手続の際に納入する経費等

入学料 282,000 円

※入学料については、入学手続期間内に納入がない場合、入学辞退者となります。

注）本学には入学料の免除・徴収猶予の制度があります。ただし、2027 年度入学者より、入学料の免除は日本人学生（「永住者」や「定住者」、「特別永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」の在留資格を有する者も含む）のみが対象となります。入学料の免除・徴収猶予を希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください。入学料の納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。

(3) その他

入学手続きに必要な書類とその提出方法については､合格者に郵送にて通知します。

（秋期：11 月、冬期：2 月）

学生納付金（入学料・授業料）は改定される場合があります。

9. 学費

修了までに必要な学費は、2 年間で合計 1,567,920 円となります。入学手続きの際には、入学料 282,000 円を納入いただきます。

授業料については、入学後に半年分（321,480 円）ずつ納入することになります。納入時期、納入方法については入学後改めて通知いたします。

	1 年目	2 年目
入学金	282,000 円	
授業料	642,960 円	642,960 円
合計	924,960 円	642,960 円

※金融戦略・経営財務プログラムは、厚生労働省が実施する専門実践教育訓練給付金の指定講座です。受給資格の有無や詳細は管轄のハローワークでご確認ください。

10. その他

国際学生館景明館及び国際学生宿舎（学生寮）について

本学国際学生館景明館及び国際学生宿舎（学生寮）への入居希望者は、2026 年 12 月中に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。

http://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html

11. 注意事項

(1) やむを得ない事由等により、入試日程および内容等を変更する可能性があります。また、気象状況や公共交通機関の遅延・運休等が入試実施に影響を及ぼす場合等、受験者に対し緊急連絡を行う場合があります。これらの事由が生じた場合は、本プログラムウェブサイト（https://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/）にて通知します。

(2) 経営管理研究科経営管理専攻では、入学試験を以下の A～C 群に区分して実施しています。同じ群に ある入学試験に併願することはできません。異なる群の入学試験に出願することは可能です。

A 群

・修士課程研究者養成コース（一般選考、内部選考）

・博士後期課程研究者養成コース（外国人特別選考）

・経営学修士コース経営分析プログラム（一般選考、内部選考、特定大学特別選考）

B 群

・経営学修士コース経営管理プログラム（含、ホスピタリティ・マネジメント・プログラム）第 1 期

・経営学修士コース経営分析プログラム（企業派遣特別選考（第 1 期））

・経営学修士コース金融戦略・経営財務プログラム（秋期）

C 群

・経営学修士コース経営管理プログラム（含、ホスピタリティ・マネジメント・プログラム）第 2 期

・経営学修士コース経営分析プログラム（企業派遣特別選考（第 2 期））

・経営学修士コース金融戦略・経営財務プログラム（冬期）

・博士後期課程（研究者養成コース編入学・進学、金融戦略・経営財務プログラム、イノベーション・マネジメント・プログラム特別選考）

(3) 入学試験に関する照会は一橋大学大学院千代田キャンパス事務部宛てに E-mail（chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp）または郵送にて送付してください。**電話による問い合わせには応じません。**

※千代田キャンパス事務部は土日祝日および年末年始（12/28～1/3）は閉室しております。

(4) 本プログラムウェブサイト（https://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/）に、カリキュラム、授業時間帯、年間スケジュール等の情報を掲載しておりますのでご一読ください。

(5) 出願後の志望研究科、専攻、コース、プログラムの変更は認めません。なお、志望するプログラム以外の教員の演習は選択できないので注意してください。

(6) 出願書類及び既納の入学検定料は返却しません。

(7) **各種証明書は原則として提出日から 3 か月以内に発行された原本**を提出してください。ただし、複写可の断り書きがある書類については、この限りではありません。

(8) 出願書類の記入にあたっては、原則としてパソコンを使用することとします。

(9) 本プログラム経営学修士コースでは、教員への事前相談を不可とします。一般的な問い合わせにつきましては、上記(3)をご参照ください。

(10) 障害等があり受験上の配慮を希望する者は、本研究科の出願に先立ち、出願期間開始日の 2 週間前までに、千代田キャンパス事務部に相談を申請してください。（上記日以降にも相談申請を受け付けますが、その場合、受験上の配慮が間に合わないことがあります。）事前相談の申請は、本学への出願を義務付けるものではありません。本研究科への出願が未定であっても事前相談申請を受け付けております。

※希望する配慮内容によっては、回答に時間を要することがあります。

修学上の配慮に関する相談窓口は以下のとおりです。

アクセシビリティ支援室（https://www.hit-u.ac.jp/shien/counseling/shougai/shougaishien.html）

(11) 入学手続き後、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしません。

(12) 個人情報の取り扱いについては，WEB 出願ページ「個人情報の取り扱いについて」を参照してください。WEB 出願ページでの「同意」がない場合、出願できません。

(13) 入学試験の成績は、本学の今後の入試及び教育の改善のため、並びに入学後の教育・学業支援のために本学内で使用することがあります。

(14) 過去の入学志願者数・受験者数・合格者数及び入学者数については、本プログラムウェブサイト（https://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/admission/students-data/）に掲載しています。

【問合せ先】

国立大学法人　一橋大学大学院　千代田キャンパス事務部

〒101-8439　東京都千代田区一ツ橋 2-1-2　学術総合センター

E-mail：chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp

経営学修士コース「金融戦略・経営財務プログラム」の概要

金融戦略・経営財務プログラムは、現代の金融業務に必要な知識を備え、問題を的確に把握し、最先端の学問と実務の成果を利用して、直面する実際の問題に自らの判断で対応できる高度な能力を持った専門的職業人の育成を目的とするプログラムです。金融に関わる幅広い問題を定性的・概念的に深く理解し、実際のデータを使って定量的に分析し、それらを経営上の判断に生かすことができる高度金融人材の育成を目指しています。

■主な対象者

主に、金融機関及び商社・製造業・サービス業等の事業会社で、資産運用、M&A、リスク管理、資金調達、投資、IR、管理会計、CFO 等の業務に携わることを目指す社会人を想定しています。また、近年の金融業務の範囲の拡大によって、その他の業種や官庁においても金融技術を理解する必要性は増しています。これからの企業経営では、市場を相手とした高いレベルでの財務的意思決定がますます重要な役割を担うようになるでしょう。本プログラムは、このような現代の金融に関し基礎知識を体系的に習得したいと考える全ての社会人の方々に絶好の機会を提供します。

■入学者に求められる能力

以下は、本プログラムの講義・ゼミを履修して単位を取得するために必要となる能力です。足していると自覚する項目があれば、自ら努力をして改善してゆくことが求められます。

・何よりもまず自分の頭で考えて問題解決しようという意識が強いこと
・自分の考えを論理的に口頭発表や文章で表現するとともに、他者の考えにもきちんと耳を傾けて意見交換することができるようなコミュニケーションが図れること
・英語で書かれた書籍や専門論文をきちんと読解することができること
・ファイナンスの理論モデルを理解したり統計分析を行ったりするための準備として、少なくとも高等学校までの数学（微分・積分、数列とその和）を理解している者、
あるいは短期間で復習する意欲がある者
・ワープロ、表計算ソフト等を苦労なく操作できるコンピュータのスキルを身につけていること

■学習をより充実したものにするために習得しているとよいスキルや経験

以下は、より質の高い学習や、より質の高い修士論文を作成するために、１つでも習得していると加点対象になるスキルや経験の例です。

・経済学、会計学、経営学、統計学等の基本的な理解
・財務会計や企業価値評価の基礎的な事項を学習しており、財務諸表分析の経験がある
・外国人教員やゲストスピーカーによる英語の授業を理解し、英文レポートの作成やケース・スタディの議論が英語でできる
・統計学やデータ分析の基礎的な事項を学び、統計や計量経済学のソフトウェア（R, STATA など）、C, C++、Python といったプログラム言語、MatLab,といった数値計算プログラムなどを利用した経験がある

・大学学部の課程において、線形代数、多変量解析、微分方程式、確率論、中級以上の統計学などの授業を履修しその内容を十分に理解している
・経営学、会計学、商学、経済学、歴史学、社会学、心理学など、多様な社会科学の学問を幅広く学んでいる

〔カリキュラム〕

■授業時間帯

授業は平日の月～金曜日の 18：20 より 2 コマ、および土曜日に設定されています。
ただし、本プログラムでは伝統的に、月曜日は 1 限が M1 対象のゼミ、2 限が M2 対象のゼミに割り当てられており、火～土曜日が通常の授業実施日になっています。

1 限	18:20~20:05
2 限	20:15~22:00

土曜日は授業によって時間帯が様々です。入学後、在校生向けに案内される授業スケジュールでご確認ください。

■学期制

各学年は、4 月に始まり翌年の 3 月に終了します。4 学期制で 1 学期に原則 7 回の授業を行い（テスト含む）1 単位となります。2 学期通しで 2 単位になる科目や夏学期後、冬学期後に開講される集中講義などもあります。

<2026 年度の場合>

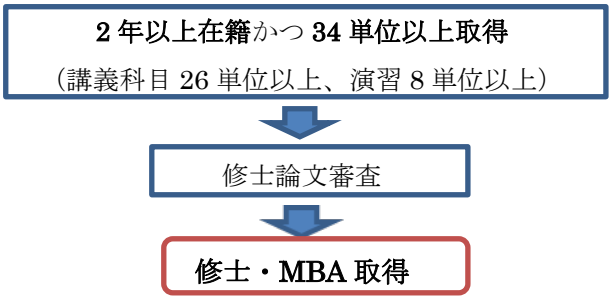
春学期	4/9 （木）～ 5/31（日）
夏学期	6/1 （月）～ 7/22（水）
秋学期	9/14（月）～ 11/1（日）
冬学期	11/2（月）～ 1/5（火）

■取得できる学位

修了者には、修士（経営）「金融戦略・経営財務 MBA」の学位が与えられます。

■修了要件

本プログラムの修了要件は、２年以上在学し、講義科目 26 単位以上、演習 8 単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、本研究科が行う学位論文の審査及び最終試験に合格することです。



【注意】

・講義科目 26 単位以上のうち **18 単位以上は本プログラムの講義科目の単位**を修得する必要があります（この条件を満たせば、ビジネスロー専攻など他プログラム・他専攻の講義科目の単位を修了要件としての単位数に算入することも可能です)。

・本プログラムの講義科目で履修すべき 18 単位以上のうち、「基礎科目」7 科目の中から 4 科目（8 単位）以上を修得する必要があります。

※修業年数は 2 年ですが、仕事などの状況に合わせて半年単位で最大で修了時期を 2 年間延長することが可能（在学年限の上限は 4 年）です。

※休学は学期単位（1/4 年）で事前申請することができ、学長の許可がとれれば通算で 2 年まで可能です。休学期間は在学期間には算入されません。

■授業に必要な準備物

金融戦略・経営財務プログラムでは、履修上必要となるパソコンやソフトウェア等を、各自で用意していただくことを前提にカリキュラムが構成されています。

〔開講科目〕

■授業科目一覧（カッコ内は単位数）

授業は、基礎科目と専門科目の講義、及び専門科目の演習に分けられます。

以下は 2026 年度開講の授業科目一覧となります。

〔演習〕 ※必修

演習では、指導教員の指導のもと、受講者が自ら選んだテーマに関して研究して問題解決を的確に行える力を身につけ、最終的に研究成果を修士論文としてまとめます。

演習による指導は一橋大学の伝統であり、教育システムとして国際的に高い評価を受けています。

M1 (2×2)	M2 (2×2)

〔基礎科目〕※4 科目 8 単位以上必修

基礎科目の講義では、金融戦略および経営財務の分野全体を広く理解するために必要な基礎知識を習得します。

ファイナンス理論の基礎（2)	金融データ分析の基礎(2)
コーポレートファイナンスの基礎(2)	会計・バリュエーションの基礎(2)
ファイナンス理論(2)	コンピュテーショナル・ファイナンス(2)
金融数理の基礎(2)	

〔専門科目〕

専門科目の講義では、特定のトピックについて詳しく学びます。

・入門科目

金融数理入門(1)	線形モデル入門(1)
金融リスク計量入門(1)	時系列分析入門(1)
金融データリテラシーⅠ(1)	金融データリテラシーⅡ(1)
統計プログラミング入門(1)	

・インベストメント／アセットプライシング

ポートフォリオ投資論(2)	ファイナンスにおける諸問題(1)
投資戦略論(2)	資産価格の実証分析(2)
エナジー・ファイナンス(1)	環境ファイナンス(1)

・数量ファイナンス／リスクマネジメント

金融数理(2)	派生証券理論(2)
ファイナンシャル・リスク・マネジメント(2)	金融リスク計量における諸問題(1)

・データ分析

金融データ分析(2)	金融データ分析：演習(2)
データサイエンス概論(2)	統計プログラミング(1)
ベイズ統計学（MCMC 法）(1)	テクノロジードリブンインベストメント(1)

・コーポレート・ファイナンス

アカウンティング(2)	グローバル M&A(1)
プライベート・エクイティと資本市場(2)	プライベート・エクイティと課題(1)
M&Aと事業再生の実践Ⅰ(1) （KPMG FAS 寄附講義）	M&Aと事業再生の実践Ⅱ(1) （KPMG FAS 寄附講義）
CFO と企業価値(1)	コーポレート・ファイナンスに関する諸問題(1)

・経営学／その他

グローバル金融規制と新たなリスクへの対応(2)	企業倫理と ESG（2）
マネタリー・エコノミクス(1)	マネジリアル・エコノミクス(1)
金融機関の戦略的経営(1)	サービス経営のファイナンス(1)
情報化戦略とその実践（Simplex / Simplex Institute 寄附講義）(1)	リスク管理と金融教育（Simplex / Simplex Institute 寄附講義）(1)
プライベートエクイティファンドの実際（刈田・アンド・カンパニー寄附講義）(1)	金融改革と法(1)
副演習(2)	

☆博士後期課程

〔専門科目〕

資産価格理論(1)	コーポレート・ファイナンスの実証分析 I(1)
コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ(1)	

※各科目のシラバスは、一橋大学全学の学務情報システム CELS のシラバス検索サイト Syllabi から検索することができます（時間割所属で、経営管理研究科の【金融戦略・経営管理プログラム】を選択してください）。Syllabi には、https://www.hit-u.ac.jp/kyomu/info/ct.html のサイトから移動できます。

2026 年度金融戦略・経営財務プログラム教員

・金融戦略・経営財務プログラム専任教員（演習を担当する教員）

大 橋　和 彦 教　授（金融市場論、金融商品論、エナジーファイナンス）**（※）**
中 川　秀 敏 教　授（金融リスク計量モデル、数理ファイナンス）
野 間　幹 晴 教　授（財務会計、企業価値評価、企業変革）
本 多　俊 毅 教　授（証券投資、資産価格モデル）
横 内　大 介 教　授（データサイエンス、統計科学、データベース論）
折 原　正 訓 准教授（コーポレートファイナンス、コーポレートガバナンス、税制、政策評価）
篠 崎　裕 司 准教授（数理ファイナンス、数値解析）
清 水　良 樹 准教授（資産価格理論の実証研究、不動産ファイナンス、都市経済学、空間計量経済学）

（※）なお、大橋和彦教授は 2027 年 3 月に定年退職のため、2027 年度以降は演習を担当しません。

・非常勤教員(五十音順)

＜専任教員・兼任＞

祝 迫　得 夫 経済研究所・教授

＜特任教授＞

中 村　信 弘 特任教授（計量ファイナンス）

＜特任准教授＞

岡 畑　信 秀 特任准教授（マクロ経済学、金融論）

＜客員教授＞

幸 田 博 人　客員教授　：株式会社イノベーション・インテリジェンス研究所　代表取締役社長
佐々木 清隆　客員教授　：元金融庁総合政策局長、グローバル金融研究所代表
土 岐 大 介　客員教授　：東京科学大学 理事（資産戦略担当）、筑波大学大学院 客員教授

＜非常勤講師＞

青 木 義 充　非常勤講師：国際医療福祉大学 医療福祉学部　教授
安 久 芳 伸　非常勤講師：シティグループ証券株式会社　投資銀行統括本部　M&A 本部長
安 藤 希　　非常勤講師：昭和女子大学 グローバルビジネス学部 会計ファイナンス学科 准教授／
　　株式会社シンプレクス・インスティテュート　取締役
岩 井 真希子 非常勤講師：シティグループ証券株式会社　投資銀行部門　マネジングディレクター
梅 津 光 弘　非常勤講師：　梅津総合研究所株式会社　代表取締役
筬 島 靖 文　非常勤講師：SMBC 日興証券株式会社　クオンツ部長 理事

菅 谷 勇 樹　非常勤講師：株式会社フィンデクス　代表取締役

竹 山 和 幸　非常勤講師：株式会社 QUICK ナレッジコンテンツ本部 ESG 研究所　副部長 シニアアナリスト

中 山　純　　非常勤講師：金融機関勤務

馬 場 義 徳　非常勤講師：株式会社星野リゾート　海外事業部 中国大陸開発ユニットディレクター 兼　海外運営ユニット２ディレクター

東 出 卓 朗　非常勤講師：au アセットマネジメント　執行役員・CIO 最高運用責任者

（別紙）

評 価 報 告 書

一橋大学大学院経営管理研究科 経営管理専攻 金融戦略・経営財務プログラム入学試験の重要な情報となりますので、できるだけ具体的に、また、評価が正確に伝わるようにお書きください。ご協力に感謝いたします。

【評価報告者と申請者（入学志願者）との関係】

１．志願者をどの程度の期間、どのような関係でご存知ですか？
評価報告者及び志願者の所属していた法人・部・課名等、できるだけ具体的にお答えください。

評価報告者と志願者との関係　　期間
年　月から　年　月

評価報告者（直筆サイン又は印）：

志願者：

２．業務を通じて、あるいはその他の機会において、志願者の評価を以下の項目についてお答えください。

① 志願者が行っていた（いる）業務の内容：
（できるだけ具体的に 3 行から 5 行ほどでご説明ください。）

② 評価報告者による志願者の能力評価（点数に○印をご記入ください）：

(a) 総合評価

1---------2---------3---------4---------5---------6---------7---------8---------9---------10

改善の余地が大きい　　極めて優れている

(b)基礎的な学力と理解力

1---------2---------3---------4---------5---------6---------7---------8---------9---------10

改善の余地が大きい　　極めて優れている

（別紙）

(c)問題の本質を見抜き、新しいアイディアを着想する力

1---------2---------3---------4---------5---------6---------7---------8---------9---------10

改善の余地が大きい　　極めて優れている

(d)アイディアを具体的な企画に変え、それを実現に結びつける力

1---------2---------3---------4---------5---------6---------7---------8---------9---------10

改善の余地が大きい　　極めて優れている

(e)人を説得し、目標実現に組織を統率する力

1---------2---------3---------4---------5---------6---------7---------8---------9---------10

改善の余地が大きい　　極めて優れている

(f)協力者を増やし、また人と協力して働く力

1---------2---------3---------4---------5---------6---------7---------8---------9---------10

改善の余地が大きい　　極めて優れている

③ 以上の評価の理由として具体的に特記すべきことがあればお書きください。

3. 同様の業務を行っている方をいままで何人程度ご覧になってきましたか？その中で、志願者は上位何%に属するとお考えですか？

以上

（別紙）

修士論文計画書等作成要項

1：志望理由・自己アピール（3ページ以内）
2：修士論文計画書、あるいは、修士論文構想書（2 ページ以内）
3：その他（1 ページ）

修士論文計画書等（以下、計画書等）は表紙 1 ページ、内容 6 ページ、合計 7 ページを上限とします。作成にあたっては、A4 用紙縦に横書き、日本語で作成してください。計画書等に盛り込む内容は以下の 3 つのパートから成り立っています。作成の際はパートごとに改ページしてください。文字サイズは 10.5 ポイント以上にしてください。

表紙（1 ページ）

必ず添付のフォームを使用してください。

「修士論文計画書」あるいは「修士論文構想書」のどちらを提出するか選択し（Q8参照）、①志願者の氏名、②勤務先名称・部署・役職・業種、③勤務先からの派遣の有無（Q12 に社内選考の経緯とサポート内容を記入すること）、④希望する指導教員（Q7 に記載したもの、複数可）、⑤修士論文の題目（１行以内）、⑥「修士論文計画書」あるいは「修士論文構想書」の要約（10 行以内） を記入してください。

1. 志望理由・自己アピール（3 ページ以内）＊Q3~5 は任意でお答えください。

Q1. 金融戦略・経営財務プログラムを志望する動機、背景、本プログラムで学ぶことで獲得したいこと、修了後のご自身のキャリアパスに関する構想について説明してください。（1,000～1,500字程度）

Q2. これまでに最も自分を成長させた、あるいは最も困難だったと考えることは何ですか。その理由、背景、メンバー、スキルについても具体的に記述してください。仕事に限らず、学生時代の部活動や現在の趣味でもかまいません。（500 字程度）

＊Q3. これまでにボランティア活動、社会・地域活動、サークル活動（大学以降の学生時代のものも可）などをしてきましたか。参加もしくは立ち上げた団体名、活動内容、期間、役割などがあれば記述してください。（400 字以内）

＊Q4. 音楽、絵画、彫刻、建築、文学、哲学、スポーツなど、あなたが興味を持ち、評価するものがあれば、簡潔に記してください。（400 字以内）

＊Q5. 取得資格、表彰など、特記したいこと、自分についてアピールしたいことがあれば自由に記述してください。（400 字以内）

（別紙）

2. 「修士論文計画書」あるいは「修士論文構想書」（2 ページ以内）

Q6. 表紙で記載した修士論文の題目を記載してください。（1 行以内）

Q7. 修士論文の作成に関して指導を希望する専任教員名を記述してください。複数の教員名をあげてもかまいません。

Q8.

・「修士論文計画書」を提出する場合、Q6 であげた修士論文の題目に関する内容に興味を持った理由、どのような点を解明したいのか、その解明のための具体的な方法などを説明してください。加えて、参考文献、必要なデータやソフトウェアなどがあれば、それらについても記述してください。（2,000 字以内）

・「修士論文構想書」を提出する場合、Q6 であげた修士論文の題目に関する内容に興味を持った理由、どのような点を解明したいのかを説明してください。なお、構想書では、その解明の方法、参考文献、必要なデータ・ソフトウェアなどの記載は不要です。（2,000 字以内）

3. その他　（1 ページ以内）

Q9. 英語力に関して、あてはまるものがあれば、具体的に記述してください。

① 英検・TOEFL・TOEIC 等の受験実績
② 海外勤務経験
③ 留学経験
④ 公表されている英語のレポートや論文の執筆

（英検・TOEFL・TOEIC などを受験している場合には、その点数を書き、得点表のコピーを同封して下さい。）

Q10. 過去に修士論文あるいは博士論文を提出し審査に合格している（または合格見込みの）場合、もしくは学術論文などを刊行している場合、1.題目と 2.概要（3 行以内）を記してください。

Q11. プログラミング言語やソフトウェアについて、利用した事があるものがあれば記入してください。

① R	④ MatLab
② Python	⑤ C, C++
③ STATA	⑥ その他（　　）

Q12. 企業派遣の方は、社内選考の経緯と企業からのサポート内容（授業料の支援や就業時間の配慮など)を具体的に説明してください。（200～400 字程度）

以上

（別紙）

研究歴・職歴 追加フォーム（WEB 出願フォームで書ききれなかった方のみご利用下さい）

勤務先名	勤務年数	勤務期間（西暦）	職　務　内　容
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	
	年 月	年 月から 年 月まで	

選択してください （どちらかを〇で囲む）	修士論文計画書　・　修士論文構想書
①志願者氏名	
②勤務先名称	
	部署名：　　役職：
業種（〇で囲む）	1. 銀行・リース 2. 証券 3. 保険 4. 資産運用 5. 貿易商社 6. コンサルティング 7. 監査法人・税理士法人等 8. 製造業 9. 建設 10. 運輸 11. ガス・電気 12. 情報・通信 13. 小売り流通 14. サービス業 15. 官公庁 16. その他（　　）
③勤務先からの派遣（〇で囲む）	有　・　無
④希望する指導教員 （〇で囲む、複数可）	折原正訓 准教授　篠崎裕司 准教授　清水良樹 准教授　中川秀敏 教授 野間幹晴 教授　本多俊毅 教授　横内大介 教授

⑤修士論文の題目（１行以内）

⑥「修士論文計画書」あるいは「修士論文構想書」の要約（10 行以内）

必要書類について

1. 書類全般

・各種証明書は原則として提出日から 3 か月以内に発行された原本を提出してください。ただし、それより古い書類しかなく 3 か月以内の再発行が難しい場合や、原本が一部しかなく複写しか提出できないものについては、この限りではありません。

・入学志願票の氏名と提出書類の氏名が異なる場合には、戸籍抄本等の氏名変更を証明できる書類を添付して下さい。（入学時には、入学志願票の氏名が学生証に記載されます。）

1. 在職証明書

・一つの企業等で 2 年以上の実務経験を証明できない場合には、複数の企業等の証明書を提出してください。「2 年以上の実務経験」を証明できるものであれば、現職でない（過去の）在職証明書でも提出可能です。

・大学が指定した様式等はありません。所属、出願者本人の氏名、実務経験の期間（在職開始年月日～終了年月日（または現在））が記載され、企業等の人事責任者等が証明する、という様式になっていることが望ましいです。

・雇用先以外からの証明方法としては、雇用保険あるいは厚生年金保険の記録でも受付可能です。
(前）勤務先からの在職証明の発行が難しい場合にも、下記の公的証明で代替としていただけます。
　雇用保険：ハローワークで「雇用保険被保険者資格取得届出確認照会回答書」を発行してもらい雇用保険に加入していた期間および企業（等）名を証明。
　厚生年金保険：年金事務所等で「被保険者記録照会回答票」等を発行してもらうことにより、厚生年金加入期間、勤め先等を証明

2. 入学志願票

・WEB 出願ページに必要事項を入力し、出力してください。送信ボタン押下後の訂正はできませんので、入力内容に誤りのないようご注意ください。

・「学校教育における 16 年の課程」に外国での学歴が含まれる方は、「16 年の課程を修了」していることがわかるよう、標準修業年限を正確に記載ください。

・修業年限は、卒業（修了）するのに定められた標準的な教育期間を指します。飛び級や留年、休学等で修業年限よりも長い（または短い）期間で卒業した場合でも、教育機関が定めた修業年限を記載して下さい。

3. レターパックライト

・レターパックの「ご依頼主様保管シール」は剥がさずご提出ください。

・合格通知、入学手続き書類等は入学志願票の住所に送付します。レターパックライトに記載の住所と志願票の住所が異なる場合には WEB 出願ページにて「現住所」 「緊急連絡先」のどちらかを選択いただくか、特記事項欄に希望の送付先を入力してください。

出願についてのよくある質問

●ＷＥＢ出願と出願書類の郵送

・ＷＥＢ出願ページは出願期間にならないと入力できません。

・入力前に下記ウェブサイトに掲載の「ＷＥＢ出願ページ記入要領」を必ずご確認ください。
（https://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/admission/exam/）

・必要事項を入力し、必ず「送信ボタン」を押下してください。送信ボタンを押下しないと入学志願票は生成されません。

・出願期間内に、検定料を納入し出願書類一式を提出（郵送）いただいて出願完了となります。ＷＥＢ出願だけでは出願したことにはなりませんのでご注意ください。

●海外在住者の出願について

・外国から出願する場合は、必ず出願期間前にメール（chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp）でお申し出ください。スケジュール等を確認いたします。

・出願書類の郵送締切は出願期間内必着としていますが、国際郵便の配達状況等により、日本国内からの出願より早く提出していただくことがあります。また、海外在住の場合は、第一次審査通過後の口述試験の実施方法について検討します。

●入学志願票と提出書類の氏名が異なる場合

・入学志願票の氏名と提出書類の氏名が異なる場合には、戸籍抄本等の氏名変更を証明できる書類を添付してください。（本学入学に際しては、入学志願票の氏名が学生証に記載されます。）

●卒業証明書・学業成績証明書

・各種証明書は、原則として提出日から３ヶ月以内に発行された原本を提出してください。ただし、複写可の断り書きがある書類についてはこの限りではありません。また、厳封提出の必要はありませんが、出身大学が厳封にて発行した場合はこの限りではありません。

●在職証明書

・一つの企業等で２年以上の実務経験を証明できない場合には、複数の企業等の証明書を提出してください。「２年以上の実務経験」を証明できるものであれば、現職でない（過去の）在職証明書でも提出可能です。

・大学が指定した様式等はありません。所属、出願者本人の氏名、実務経験の期間（在職開始年月日～終了年月日（または現在））が記載され、企業等の人事責任者等が証明する、という様式になっていることが望ましいです。

・やむを得ない事情により在職証明書が提出できない場合は、雇用先以外からの証明方法として雇用保険あるいは厚生年金保険の記録でも受付可能です。在職証明書を提出できない理由を記載した理由書とともに提出してください。

★雇用保険：ハローワークで「雇用保険被保険者資格取得届出確認照会回答書」を発行してもらい、雇用保険に加入していた期間および企業（等）名を証明。

★厚生年金保険：年金事務所等で「被保険者記録照会回答票」等を発行してもらうことにより、厚生年金加入期間、勤め先等を証明。

●評価報告書（提出は任意になります。）

・所定の様式を使用し、評価報告者には直筆署名または押印を依頼してください。それ以外の記述についてはパソコンを使用していただいて構いません。出願者が内容を見ることのないよう、必ず評価者が厳封したものを提出してください。

・複数の評価報告書を提出いただくことも可能ですが、提出数が多いこと自体は審査上の加点にはなりません。

●修士論文計画書等

・表紙の「修士論文の題目」には、ＷＥＢ出願ページの入学志願票の「研究題目」と同じ内容を記載してください。また、正本と副本は内容が同じものを計３部（正本１部、副本２部）ご提出ください。

●レターパックライト

・第一次結果通知書の送付に使用します。「お届け先」に住所・氏名を記入し、「ご依頼主様保管シール」を剥がさずにお送りください。

・第二次試験の合格通知書および入学手続き書類等は、入学志願票の住所（ＷＥＢ出願ページで入力した住所）に送付します。第一次試験結果通知用レターパックライトに記載した住所と志願票の住所が異なる場合はご承知おきください。

●入学検定料振込受取書等

・入学検定料の振込控え（明細書）を出願書類とともに必ずご提出ください。銀行・コンビニエンスストア等で振込後に発行されるサイズが小さい明細書については、紛失を防ぐためＡ４用紙に貼り付けてください。

【注意事項】

出願に関するお問い合わせは、一橋大学千代田キャンパス事務部教務担当までメール（chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp）でお願いします。

※電話によるお問い合わせには対応いたしかねますのでご承知おきください。

※提出書類に不備があった場合等、入学志願票に記載のメールアドレスに連絡することがあります。